英会話講座や外国人客員教授に 6る特別講演会なども毎回受講

レベルアップに努めてき

間には、国際交流センターの

「職後、NHKのラジオ講座で

と話してくれた。

77歳の経済学部聴講生 浜口さん

社を退職後、「現実の経済を理 りたいと、平成6年度から経 『でどう説明しているのか』を 浜口文男さんは金融関係の会 11歳の経済学部社会人聴講生

までにゼミも含め142単位相 聞いていれば、どこがポイン 定位置。「先生のお話をしっか 優秀な成績だ。前から2列目 「を履修。ほとんどが「A」とい **学部の聴講生になった。現在** なのか分かります。試験の時 中の留学生の前で披露した。「文 章を作るのは苦労しませんでし 受講し、1日4時間・9日間を なり上がったと感じています」。 でしたが、スピーキング力はか 「英語漬け」で過ごした。「ハード ンテーションセミナー」を今年 開いている「英語によるプレゼ ばもったいないですよ」。 たくさんあります。使わなけれ た。「大学には『知の資源』が 学んだ成果を10月7日、来日 同センターが毎年夏期休暇に

だ苦労することはありません」。 浜口さんを見ていると、僕

たが、なかなか覚えられずに講

とアドバイスされ、実践しまし 師の先生に相談したところ、『ー 00回声に出して読んでみて』

゚レゼンテーションセミナ 成果を披露する浜口さん けてくれた。 浴び、ほとんどが高い評価をつ が、留学生たちからは大絶賛を やジェスチャーがおろそかにな すのに夢中で、アイコンタクト ろをプレゼンテーション。「話 をテーマに浅草と皇居の見どこ ってしまいました」と反省する One Day Tokyo Tour

り目標から英語に興味をもち、 、大学院でも特別聴講生とし らであった酒井進教授に勧めら ているという。ゼミの指導教 生から言われたことを励みに いと感じます」と沖縄出身の 海外旅行に行きたい」とい 牛の るようになることが目標。来年 も聴講し、以前学んだ『経済原 論』をもう1度学んでみたい. がなくても英字新聞を理解でき ことを平尾光司先生(元経済学 る。「自分なりのノートを作る 部教授)に教わりました。辞書 ない用語をノートに記入してい

ばもっと頑張らなくてはいけ

毎日英字新聞を読み、分から

さん、白男川卓哉さん、玉 昨年優秀賞を獲得した井上

もっといっぱいに~ハワー たテーマは「東京ドームを

島崇光さんが「リベンジし

い」と応募を決意。高校

行動を研究する奥瀬ゼミ。

マーケティングと消費者

た。8月に東京ドームの巨

人対中日戦を観戦して決め

ゼ

耶さんが加わって3・4年

次生合同チームを編成し

グループワークで後輩に経験を伝える

問い合わせは経済学部な出 願は2月2日から同15日まで。 911 **経済学部の社会人聴講生出 1257



野球を変える3つの改革」

として提案した。

になっていたことを「プロ

目指すことを提案した。観 とでファンの拡大や交流を

ッチ特典」は、

取った人に

戦中に携帯電話を操作して

らうほかにグラブ持参を促

11月24日に田

府市などで行わ

プレゼントをして喜んでも

佐

セ

Ξ

生

動」に国際安全保障論を学

ぶ佐島直子ゼミから10人が

学生たちは施設などを見

チPKOと陸上自衛隊の活

という。観戦するたびに気

の改革」では、「ビール販 「球場内設備・サービス

売に回数券を使う」「ネイ や監督の采配への評価をフ ついた「携帯電話を使った 観客のつぶやき」はプレー いる人が多いことから思い 進して安全性の向上を図る 点もアピール。提案に必ず

ノァンの視点から3つの改善策 が三橋プランの特徴だ。 プラスアルファがあること 「このコンテストに応募

ァン同士で共有する仕組 ァのアイデア から高く評価していただい ニングが学べる高橋義仁ゼ ミを選んだので、外部の方 したくて、ビジネスプラン

スタジアムによく足を運ぶ やり・リーグと交流するこ た。「打球のダイレクトキャ く」細かい提案が評価され したのも誇りに思います」

は、自宅近くの千葉マリン ファンだという三橋さん

小さいころからプロ野球

を提案。「地域関連型スポ

る、といった「体験に基づ

スでは待ち時間が解消でき

す。多くの応募があった中 たのは本当にうれしいで

で専大から2チームが受賞

設置」など8つのアイデア

ーツの改革」ではJリーグ

Ξ

橋

さ

ん

ルサロンや女性専用マッサ

ブラスアルフ

-ジ室など女性限定の設備

み。また弁当の予約サービ

0」(読売新聞東京本社主催、読売巨人軍協力) の表彰式が11月23日に東京ド 友也さん(商4)ら6人が賞状と副賞を授与された。 奥瀬ゼミは昨年に続く入 ムで行われ、本学から優秀賞の三橋亮吾さん(商3)と奥瀬喜之ゼミの井上 96作品の応募があった「大学生のベースボールビジネスアワード201 ことで、自分に不足してい 省」、玉島さんは「教える ては不完全だった点を反 った」、白男川さんも「後 る部分を再認識できた。同 し学年だけでは味わえなか

動における苦労などを質問

(商3)が参加、現地の活

本学からは三砂昭太さん

(経済4) と川端亮平さん

入学、山梨学院大学など5

人学の代表によるもので、

基準にしていることが明ら る』」といった点を遊びの を運んだ経験がない。チケ 長時間利用、クーポンがあ ットは高いと思っている。 『安さ、はしゃげる、近さ、 ✓の大学生は、野球場に足 △を実施。その結果「多 ちの豊富な知識やスピード 細越さんは「最初は先輩だ じる点が多かったようだ。 ニケーション」について感 た」と先輩たちは「コミュ の難しさと大切さを痛感し 『言葉にして伝えること』

大学生が球場に気軽に足を運ぶには

ド=シェス・モデルを用い 行動特性から提案 かになった。ゼミでの学び

昌弘さん(商3)に声をか まで野球をやっていた栗原

細越洋希さん、武田麻

ットへ向けたアプロー

た仮説構成概念とアウトブ

を最大限に生かし、

新たな

支援を日

意識が変わりました」、栗

で自主的に動いていこうと

ビジネスモデルとして現在

ものの見方など参考になる 原さんは「人の動かし方、

部分が大きかった」と教わ

本で唯

の公認大学生団体。

あるファンクラブ「G-p

を発揮した奥瀬ゼミ いましたが、私たちと同世 代が少なかったのが印象的 客席はとても盛り上がって で「大学生が東京ドームに だった」と玉島さん。そこ がから復帰した日で、観 OBの松本哲也選手が リなども考えた。 を提案。携帯電話を活用し てゲームに参加できるアブ ペーン「G-poで一歩」 o」を活用し、 球場に気軽 に足を運んでもらうキャン 井上さんは「プレーヤー

気軽に足を運ぶための」提

としては昨年より成長でき

伝え、ぜひ最優秀賞を」と

教わったことを下の世代に

意欲を燃やしている。

する意義について考えた。

しさ、コミュニティに参加

動けるように変わった」と

話す。後輩たちは「来年は

きることを探して積極的に

上国

ワークを経験し、

自分ので

る。武田さんは「グループ ったことの大きさに感謝す

(D)

たと思うが、リーダーとし

案をしようと、まずアンケ

先輩と後輩のチームワーク

輩が加わってくれたことで

職』を読んだ持田さんが「自

ソフトでは出会えなかった天

分も何かしたい」と学生を集

め、2009年9月に設立。

吸収しよう、自分たちだけ についていくのが大変でし にが、そのうちにその力を と現代表・張聖さん(いずれも ad の初代代表・持田裕子さん 演した。 よる社会貢献活動~U-Lead 慶応大3年次)が「大学生に 26回講座が生田キャンパスで の取り組み~」をテーマに講 to Read 大学生チーム U-Le 開催され、NGO団体 Room 山亜由美学生代表・商3)の第 公日、HEIB講座(横

社が、発展途上国の教育普及 U-Lead はマイクロソフト 大学生NGO団体 U-Lead 代表が講演

活動に取り組んでいる。

今年5月に開催したチャリ

では、546人の参加を

情報発信で学生に向けた啓発

イベントやSNSによる

という理念のもと、チャリテ どもの教育が世界を変える」 現在、約30人のメンバーが「子

ウッド著「マイクロ 左が張さん

講演する持田さ

的に設立したNGO ティーイベント「One Drea

1年間の奨学金を支援。 インドの女子生徒5人

Room to Read」の日

地道な努力を続け信頼を得 ちは神原理商学部教授を交 え、チャリティー精神が根付 電話をかけてアポを取った。 きにくい日本で共感を広げる た」と持田さんは語る。張さ マナーを学んだ」と語った。 2人に質問した後、会員た 企業の協賛に、1社1社 「活動を通じて社会での



を受けたハイチにおけるP 衛隊の役割、大地震で被害 学後、災害派遣における自

東防衛局主催の 動

などで、

海外における自衛

講演や参加隊員との討論会 KO活動の概要についての

隊の活動への理解を深めた。

討論会は参加隊員と慶応